

岩国発電所2号機における配管肉厚の自主検査結果について

当社は、8月11日付経済産業省指示(「発電用火力設備の水・蒸気系配管の技術基準適合状況調査について」)に基づき、運転開始後20年以上経過した火力発電所(5発電所12ユニット)について腐食・浸食による減肉が生じる可能性のある配管部位の検査実施計画を、9月13日、経済産業省に提出し、配管肉厚の自主検査を順次実施しています。

岩国発電所2号機(昭和47年4月運転開始)については、平成17年2月24日～平成17年3月10日まで検査を実施した結果、給水ポンプ出口配管(※1)において、国の基準を下回る部分的な減肉が4箇所確認されたため、3月下旬までに該当部位の配管取替を行い、運転を再開する予定です。

※1 給水ポンプ出口配管: ボイラに水を送るポンプの出口配管

以上

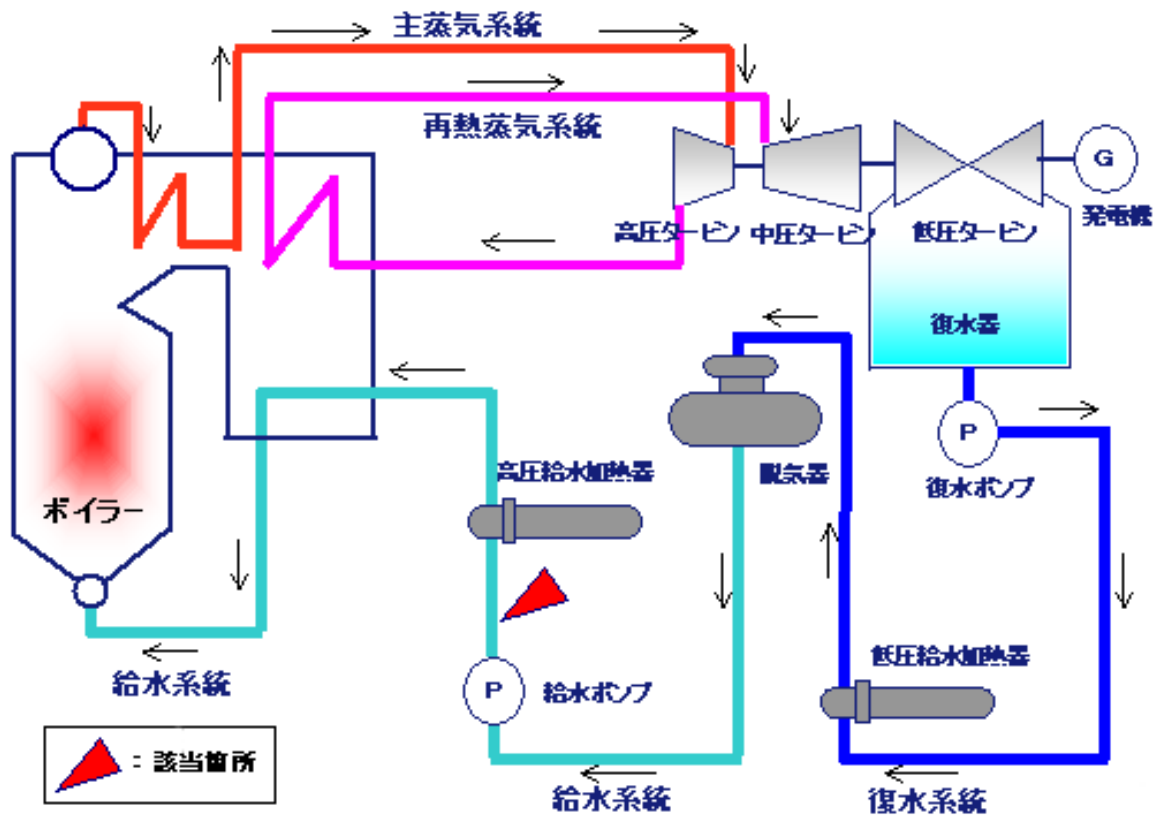
〈参考〉岩国発電所2号機配管肉厚測定結果

部位名		外径 (mm)	肉厚 (mm)	技術基準 (mm)	測定 最小値 (mm)
給水ポンプ出口配管	T管	318.5	30.0	26.03	26.0
	エルボ	318.5	30.0	26.03	25.9
		318.5	30.0	26.03	25.9
		318.5	30.0	26.03	25.7

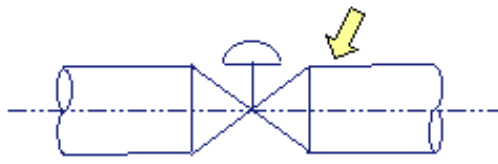
別紙:

- [1. 調査対象システムの概略図](#)
- [2. 調査対象部位の概要図](#)

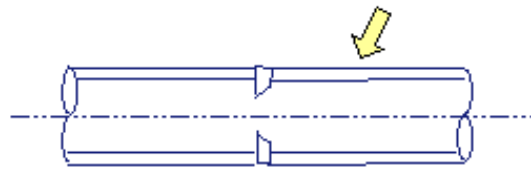
調査対象システムの概略図



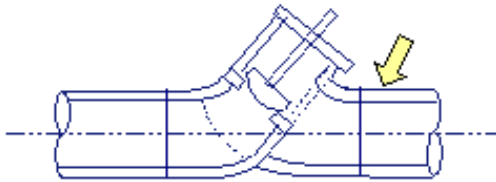
調査対象部位の概要図



制御弁下流部



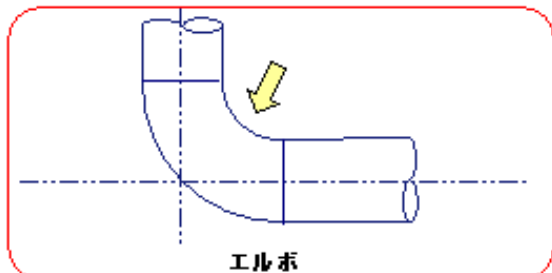
オリフィス下流部 (フローノズル)



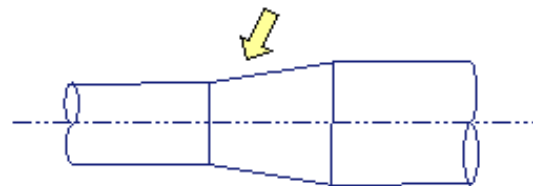
玉型逆止弁下流部



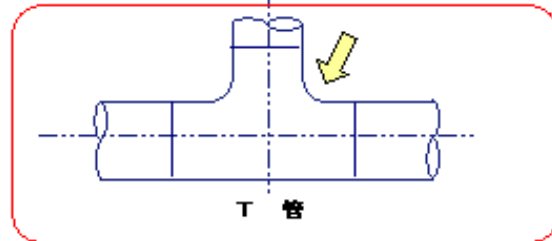
スイング型逆止弁下流部



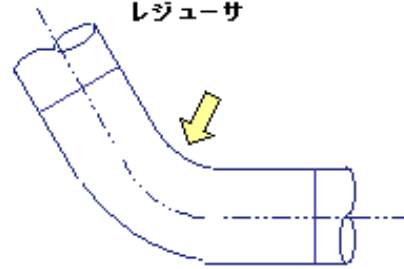
エルボ




レジュース



T管



曲管

 : 該当部位